

令和 6年 2月 27日

報道機関 各位

## 第36回「人文知」コレギウム 「社会学・人文地理学で考える」

### ■ 概要

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的に開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります（※「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味です）。

来る令和6年3月6日（水）に 第36回コレギウムでは「社会学・人文地理学で考える」をテーマに研究発表を行います。（詳細は、別添チラシをご参照ください）

つきましては、本イベントに関しまして取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

### ■ 日時・場所 他

日時 : 令和6年3月6日（水）13:30-15:30

場所 : 富山大学人文学部棟1階大会議室（※対面にて開催）

定員 : 60名（※事前登録が必要です）

内容 : 13:30-14:30 伊藤智樹（社会学・教授）

「自己を語るまでの道のり —難病患者の就労を例に—」

14:30-15:30 大西宏治（人文地理学・教授）

「地理空間情報を通じて可視化する小学生の登下校

—富山市の子どもを見守る地域連携事業—」

一般の方々や学生の聴講も可能です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学五福高岡地区事務部人社系総務課（人文担当）

TEL. 076-445-6131

ウェブサイト : <https://www.hmt.u-toyama.ac.jp>

# 第36回「人文知」コレギウム

## 社会学・人文地理学で考える

### 自己を語るまでの道のり

——難病患者の就労を例に——

伊藤智樹(社会学・教授) 13:30~14:30

発表者がフィールドのひとつとしてきた難病支援から、ある患者の就労に関する事例を取り上げる。一言でいえば、職場に合理的配慮を求めることができた(職場側はそれに応えた)事例だが、配慮を求めて使用者側と交渉することの難しさ、特に当事者側に生じる葛藤・抵抗感をどう考えたらよいか、G.H.ミードによる自己論を援用しつつ考える。

### 地理空間情報を通じて

### 可視化する小学生の登下校

——富山市の子どもを見守る地域連携事業——

大西宏治(人文地理学・教授) 14:30~15:30

富山市ではスマートシティ実現に向けて「富山市センサーネットワーク」を2018年に構築した。富山市の居住域の98.9%をカバーする省電力の無線通信であり、低容量のデータしか利用できないが、市内をさまざまなセンサーで観測して情報を収集できる。その実証実験として「こどもを見守る地域連携事業」が行われ、GPSセンサーによる小学生の登下校を見える化し、そこに内在する課題の把握と解決方法の検討を行っている。本報告ではGPSで可視化される富山市内の登下校の様態を示すとともに、その特徴や内在する課題、さらにセンサーネットワークを用いた新たな研究の可能性などを検討する。

3月6日(水)

13:30~15:30

人文学部大会議室

### 事前申込をお願いいたします。(聴講無料)

下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=Pxqw12Ujs0iFczfbm9gJuKfUOTK-JFJEvf-f0mqex9UM0xXVzBGNU1DSVhFMkxHRldXSEVUOFRWMC4u>

申込締切後、登録されたメールアドレスに詳細をお送りします。メールアドレスに誤りがあると案内をお送りすることができませんので、ご注意ください。

前日までに連絡がない場合は、下記総務課にお問い合わせください。



申込締切：2024年3月1日(金)  
学生・一般の方の聴講を歓迎いたします

お問い合わせ  
富山大学五福高岡地区事務部人社系総務課(人文担当)  
jinbuns@adm.u-toyama.ac.jp